

平成22年度 高知大学公開講座

「自然と文化」ご案内

主 催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共 催 大豊町教育委員会

日 時	第1回	10月 1日(金)	午後7:00~8:45
	第2回	10月 8日(金)	午後7:00~8:30
	第3回	10月15日(金)	午後7:00~8:30
	第4回	10月22日(金)	午後7:00~8:30
	第5回	10月29日(金)	午後7:00~8:45
場 所	大豊町総合ふれあいセンター 3階多目的ホール		

講座タイトルと講師

第1回 明智光秀と龍馬

国際・地域連携センター 教授 さかもと坂本 せつお世津夫

第2回 「友だち以上 恋人未満とは」

人文学部 人間文化学科 人間基礎論 准教授 ますだ増田 まさひろ匡裕

第3回 おいしいものには、徳(得)がある

医学部 医学科 医療学助教 ひろた弘田 りょうじ量二

第4回 環境問題と消費行動の関わり あなたは地球にやさしいですか？

教育学部 附属教育実践総合センター 教授 こじま小島 きょうこ郷子

第5回 私たちが食べている養殖魚の話

農学部 農学科 国際支援学 教授 ますもと益本 としろう俊郎

募集人員 40人

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

お申し込み 大豊町教育委員会 (TEL0887-72-0450) へ、
9月22日(水)までにお申し込みください。

受講料 1,200円

少しだけ、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門の商業

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先：高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL：088-844-8555 FAX：088-844-8556

E-mail：sakamoto@kochi-u.ac.jp(坂本)

*ホームページも見てね URLは

<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwlife/index.html>

講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
10月1日(金)	19:00 ~ 19:15	開 講 式
	19:15 ~ 20:45	<p>明智光秀と龍馬 坂本 世津夫</p> <p>坂本龍馬は、本能寺の変で織田信長を討った明智光秀の子孫であるという説がある。龍馬が生まれた坂本家の家紋は「組合い角」という形の、中央に桔梗をかたどったものであるが、この桔梗の形が明智家の家紋「桔梗紋」と同じである。本能寺の変の後、明智光春は自決して子どもたちは全国に散り散りとなって隠れ住んだ。その一人が坂本太郎五郎で、土佐で坂本家を起こした。しかし、太郎五郎が光春の息子であると立証されず、長らく仮説ととらえられてきたが、光春の本妻の墓が南国市亀岩にあった。関が原の戦い前まで土佐を治めた長宗我部家は、3代続けて明智の重臣でもある美濃の斎藤家から妻を迎えている。明智(土岐氏)は土佐に地縁があった。戦国時代の土佐は、今までの歴史観(イメージ)を覆す可能性が出てきた。</p>
10月8日(金)	19:00 ~ 20:30	<p>「友だち以上 恋人未満とは」 増田 匡裕</p> <p>名前を付けることは、仕事を区別して整理する大切な作業です。学問の場合、専門家しか分からない暗号みみたいな用語のこともありますし、多くの人が日常的に使う言葉をそのまま用いることもあります。社会心理学という学問は、私たちが普段何も考えずに上手くできることや、いつも何故だか失敗してしまうことを考える学問ですので、世間で普通に通用する言葉の意味を重視します。</p> <p>友だちと上手くいかないとき、「友だちって何だろう」と誰しも考えますが、社会心理学者も一緒に「そもそも『友だち』の定義は何だろう」と考えるのです。そして何気ない言葉遣いにも耳を澄ませます。「友だち以上恋人未満」なんていう言い方ができるということは、さて、私たちは「友だち」と「恋人」をどんなふうに区別しているのでしょうか。</p>
10月15日(金)	19:00 ~ 20:30	<p>おいしいものには、徳(得)がある 弘田 量二</p> <p>高知に暮らして早5年、弘田家も5回目のお米の収穫を迎えました。大学で教育に携わる傍ら、義父の水田を手伝っています。我が家では、ひと月で食べきれぬ量だけ、その都度精米して、残りは、涼しい納屋に貯蔵しております。品種はコシヒカリ。炊きたてご飯は、そりゃ、もう、絶品です!! おかずなしで、何度でもおかわりいけます。お米は生きて呼吸しているので貯蔵中にいやな匂いの成分も作り出しますし、気温・湿度が高いと害虫やかびも発生します。電気のいらぬ、昔ながらの納屋は究極のエコ冷蔵庫です。カビの種類には、時にはアフラトキシンという猛毒をだすやつもいます。まあ、かびのついたお米は、あきらかに美味しくないので、勿体無いと言わずに、廃棄するのがよいでしょう。ただし、毒というのは、いつも悪者というわけではなく、時にはボツリヌス菌がだすボツリヌス毒素のように、人間を殺すほどの能力があると同時に、ちょうどいい量を使うのならば、しわとり薬にもなるものもあり、人体にいい効果があれば薬だし、害がでれば毒と呼ばれるのです(人間の都合です!)。私の研究室では、こういった様々な物質の毒性を調べております。毒は薬の効果も併せ持っているのですから、食べ物のもっている健康へのいい効果も調べております。今回は、ゆずや碁石茶といった大豊町にゆかりなる食べ物のいい効果についてお話したいと思います。</p>
10月22日(金)	19:00 ~ 20:30	<p>環境問題と消費行動の関わり あなたは地球にやさしいですか? 小島 郷子</p> <p>世界中で環境に対する意識が高まっている。こんな記事を目にしたことがあるでしょうか。しかし、一人ひとりの消費行動が環境保護にどう役立っているのか、本当に理解しているでしょうか。環境と調和し、持続可能な世界を実現するために、人々はどのくらい行動しているのでしょうか。</p> <p>今日の環境問題の根底には、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムの形成とそれに支えられた私たちの生活からの環境負荷があります。持続可能な世界の実現のためには、私たちは身につけてきたライフスタイルを大幅に修正、あるいは抜本的に変化させなければならなくなってきています。</p> <p>本講座では、環境に影響を与える消費行動の現状を把握し、環境配慮型消費行動について考えてみたいと思います。</p>
10月29日(金)	19:00 ~ 20:30	<p>私たちが食べている養殖魚の話 益本 俊郎</p> <p>昨今の健康食ブームにより魚食が注目されています。そして量販店の鮮魚コーナーなどに行くとき最近「養殖」の文字をよく目にします。農畜産物が人の手によって、お米や野菜あるいは牛や豚などが育てられて我々の食料になるように、人が世話をして育てられた魚が養殖魚です。陳列されている養殖魚は何を食べてどのように育てられてきたのでしょうか。普段あまり知られていない、でも消費者にとっては気になる、養殖魚の飼育方法や飼料について、歴史や技術の変遷なども含めてお話をします。</p>
	20:30 ~ 20:45	閉 講 式 (修了証書授与)